

光の動物、夜空冒険

敦賀 とうろう流し、大花火に歓声



敦賀湾を彩った灯籠と打ち上げ花火＝16日午後7時50分ごろ、敦賀市の気比の松原(多重処理)

横、斜めの七方向から花火を打ち上げながら二十号玉を連発。豪快なファイ

ナーレに、会場を埋めた浴衣姿のカップルや家族連れは大きな歓声を上げていた。

日本海側最大級の打ち上げ花火で知られる敦賀市の「第五十九回とうろう流しと大花火大会」(福井新聞社協賛)は十六日夜、同市の気比の松原で

開かれ、敦賀湾の空を染める約一万三千発の花火と、水面に揺れる約六千個の灯籠の明かりが約二

今年は、夜空を巨大ジャングルに見立て、動物花火などで観衆を「冒険の旅」へ誘う演出。気比の松原では午後六時半から灯籠流しが行わ

れ赤、青、黄色の灯籠が海に浮かび神秘的な雰囲気。同七時半から、大花火大会の幕が上がった。「ジャングルクルーズ」と銘打ったシーンでは、音楽に合わせて動物花火が登場。子どもたちの歓声があちこちから聞こえた。花火師が趣向を凝らした「芸術花火」の後、縦、